

## 令和4年度 霧島市自殺対策検討委員会 会議要旨

開催日時	令和4年10月13日(木) 19:30~20:45		
開催場所	霧島市役所 本館7階 701、702会議室		
出席委員	野田委員、山崎委員、溝口委員、竹田委員、竹内委員、林委員、竹永委員、武田委員、富田委員、東條委員、園田委員、大迫委員		
事務局	【健康増進課】小松健康増進課長、梶健康づくり推進G長、溝口主査、清水主査、安田主事、藏元主事 【すこやか保健センター】島木所長、中村副所長、野添地域保健第1G長		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0人
<b>議事</b> (1) 健康きりしま21(第4次)計画素案の概要について (2) 健康きりしま21(第4次)計画素案(第4章)について 分野別の具体的な取組 【健康づくり分野】休養・こころの健康 (3) その他			
<b>協議結果等の概要</b> <b>議</b> ：議長 <b>委</b> ：委員 <b>事</b> ：事務局  (1) 健康きりしま21(第4次)計画素案の概要について ⇒ 事務局が資料に沿って、第1章～第3章までと第5章について説明。  <b>議</b> ：国の基準に従って行っていく中で、プラスアルファで霧島市独自の部分はあるか。  <b>事</b> ：平成21年から臨床心理士による心の健康相談事業を行っており、県内でも霧島市独自の取組ではないかと思う。  (2) 健康きりしま21(第4次)計画素案(第4章)について 分野別の具体的な取組【健康づくり分野】休養・こころの健康 ⇒ 事務局が資料に沿って説明。  <b>委</b> ：自殺対策の窓口についてアンケート結果では4分の1の方が知らない現状にあるが、市ホームページ・広報誌以外の方法も検討していくのか。  <b>事</b> ：ラジオや今年度から開始したすこやか保健センターのインスタグラムで、心の相談窓口の発信もしていきたいと考えている。相談窓口の周知をしている市ホームページのアクセス数が、令和2年度は81件、令和3年度は485件に増加していた。社会情勢によるものかと思うが、引き続きホームページでの周知も続けていく。  <b>委</b> ：養成してから年数が経ったゲートキーパーへのフォローアップの研修、民生委員・児童委員のゲートキーパーとしての専門性を強化するためのフォローアップも計画しているのか。			

事：窓口対応職員を対象に行った直近2年間のゲートキーパー研修のアンケートで、ゲートキーパーについて知らなかったと答えた職員が約4割いたので、まずは市民に関わる窓口対応職員を対象に行っていく方向性で考えている。

委：ゲートキーパー経由での情報提供が実際あるのか。

事：民生委員の方が地域で気になる方がいて、窓口が分からないときは、すこやか保健センターへ繋いでもらい、そこから関係各課へ繋ぐようにしている。

委：専門職ではない一般のゲートキーパーへのフォロー体制があるのか。

委：ゲートキーパーの講師を複数年担当している。フォロー体制については、相談窓口の紹介と、セルフケアしてくださいということを必ず伝えている。

議：ゲートキーパーが増えたのは良いが、実際にどのような活動をしているのか把握する必要がある。自殺問題において窓口は非常に意味がある。今後SNSを通してという風になると利用する方は非常に増えてくると思う。悩みが軽い段階で相談できるよう、霧島市としてアプリ等を作っていくのも意味があると思う。

委：自殺の原因として健康的・経済的な不安がある。健康診断や退職等の自分の健康や経済的な面で変化が出るタイミングで、その年代に対する何かしらのアクションが起これば、考える良い機会になると思う。

委：全国的に自殺が増える傾向にある3月4月、9月10月、年末の時期に合わせて、相談窓口を多く開設する期間があれば良いと思う。

委：学校でも相談窓口等を紹介している。一番課題となっているのは子どもたちがなかなかSOSを出せないことなので、全国的にSOSの出し方教育を必ずカリキュラムに入れ、SOSをいかにして出すかという教育をしているところである。また、先ほど相談窓口の紹介について申し上げたが、小中学生はタブレットを1台ずつ持っている。いろんなところが相談のサイトを作っており、扱いやすいインターフェイスで作られていて、質問に答えていくと、最終的にここに相談をしますかと相談窓口が表示される。相談窓口にたどり着くまでに結構時間がかかり、その間に自分の考えを精査していくことができるサイトもある。

議：学校現場はいろんなものが変革期にあって、その中でこういう問題も取り入れることができ非常に進んでいる。企業はどうなるのかというときに、日頃の保健活動で企業側の保健師が悩みを抱えていそうな方々とどうコンタクトがとれるのか。自殺は、最初は相談レベルで来るが直前になると黙ってしまう。黙ってからでは遅いのでその前にサポートをしていかなければならない。

委：睡眠による休養を十分とれている市民の割合は増えてきているが、残りの眠れないと答えた方がなぜ眠れないのか原因を調べて欲しい。

【委】：12月に民生委員の改選がある。その後にゲートキーパーについて市の出前講座で話してもらうことができるか。

【事】：健康増進の方の出前講座に心の健康づくりという項目があるので、ゲートキーパーの養成の話をするか、ご本人のストレス解消の話をするか選択できる。

(3) その他

霧島市自殺対策計画の計画期間の変更について事務局が資料に沿って説明。

⇒ 委員からの質問はなし。

会議資料

【配付資料】

- 令和4年度第2回霧島市自殺対策検討委員会会次第
- 健康さりしま21（第4次）素案
- 霧島市自殺対策計画の計画期間の変更について